

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)
授業科目名: 保育内容(身体表現) 指導法 英語表記: Method of Nursing(Body Expression) ナンバリング: 2309		単位数: 1単位 (半期) 演習	担当教員名: 金美珍 担当形態: 単独
科目/系列	領域及び保育内容の指導法に関する科目 ／保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目		保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。) ／保育内容演習	
【授業の到達目標及びテーマ】 1. 領域「表現」のねらいと内容を理解し、子どもの身体表現における指導法を身につけることができる。 2. 具体的な身体表現活動を想定して指導案を作成し、保育実践をすることができる。 3. 様々な動きを応用し、子どもの身体表現活動に活用することができる。			
【授業の概要】 領域「表現」のねらいと内容を理解し、子どもの表現意欲を養い、創造性を豊かにするような身体表現の指導法を身につける。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】 1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。○ 2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。 3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。○			
【思考・判断・表現】 1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。○ 2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。○ 3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。○			
【関心・意欲・態度】 1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。 2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。○ 3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			
【授業計画】 第1回: 領域「表現」における身体表現 第2回: 身体を使ったコミュニケーション遊び 第3回: 身体を使ったコミュニケーション遊びの指導法 第4回: 用具を用いた運動遊び 第5回: 用具を用いた運動遊びの指導法 第6回: リズムに合わせた身体表現 第7回: リズムに合わせた身体表現の指導法 第8回: 身体表現活動の指導案作成、模擬保育の準備 第9回: 身体表現活動模擬保育 Aグループ発表と振り返り 第10回: 身体表現活動模擬保育 Bグループ発表と振り返り 第11回: 身体表現創作①テーマを決める 第12回: 身体表現創作②パート創作 第13回: 身体表現創作③全体練習(撮影ー動きの確認と改善) 第14回: 身体表現創作④全体練習 第15回: 身体表現創作⑤ステージ発表 定期試験: なし		【授業時間外の学習】 授業前後に、あわせて1時間程度の自己学習を要する。 ・日頃から表現としてのジェスチャーや動作に意識をもつ。(毎日10～15分) ・コミュニケーション遊びのレパートリーを広げる。 (1時間) ・指導案の作成。(3時間) ・模擬保育の準備。(2時間) ・ステージ発表に向けて、グループ、クラスで自主練習。 (2時間) ・ステージスタッフとの打ち合わせ。(1時間)	

【授業の方法】 実技、演習。指導案や発表に対しコメントでフィードバックする。	
【テキスト】 なし	
【参考書・参考資料等】 適宜、必要な資料を配布する。 『幼稚園教育要領』（最新版）、『保育所保育指針』（最新版） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（最新版）	
【学生に対する評価】 成績評価は、ルーブリックを用いた授業内課題・発表の評価（50%）と授業への主体的な参加度（20%）、レポート（30%）により総合的に判断する。	
【履修上の注意】 必ず時間までに指定のジャージに着替え、シューズを履いていること。 また、ネックレス及び指輪、イヤリング等の装飾品は外すこと。	
実務経験の有無：無	実務経験：
【実務経験を生かした教育内容】	